



国際交流員のページ

ワン ワールド

ONE WORLD... 世界“和”ひとつ

anton まりお 真理雄です。ONE WORLDという名前に基づいて世界各国の文化、習慣、問題などに少しずつ触れながら広報を通して報告しています

特別篇

真理雄さん、ありがとうございます!

平成16年8月から、旧国見町で国際交流員として活躍されていたanton真理雄さんが、2年間の任期を終え退任されました。

真理雄さんが、旧国見町と国東市での活動をとおして感じたことや、国際交流について聞いてみました。



▶真理雄さんは、静岡県出身でアメリカ、エクアドルの大学を卒業後、日本に帰ってこようと決めていたそうですが、どうしてでしょうか?

中学校を卒業して、アメリカの高校・大学、そしてエクアドルの大学へと、9年間日本を離れて暮らしていたので、大学を卒業してから日本に帰りたい、地元の友達と一緒に時間を過ごしたいと思っていました。また、姉が国際交流員をしていたので、国際交流員として活動をしようと思いました。

「京都・名古屋・浜松」と希望を出しましたが、国見町(当時)に決定して、その時は、ショックでした。しかし、家族が励ましてくれ、大分のいいところを教えてくれたので、そのうちだんだんと、国見に行くことが楽しみになってきました。

国見に着いたときは、九州を訪れるのは初めてでしたが、海や景色がきれいで驚きました。また、刺身がおいしかったです。

▶2年間で一番印象に残ったことは?

いろいろなことがありましたが、特に保育園・幼稚園での子どもたちとの交流が楽しかったです。いろいろなところで、講演できたことが印象に残っています。自分自身、メッセージがあることを実感できました。

▶国際交流をする上で一番大切なことは?

「平和」。平和がなければ交流は成り立たないと思います。“世界和ひとつ”-「国際交流」ではなく、人と人としての交流であってほしいです。

▶これから、どのような仕事に就くのか? 将来の夢は?

やりたいことは、たくさんあります。国見での活動で自信ができました。もっとメディアにでて、自分の思いを伝えたいですね。ふるさと浜松で、子

もたちとの交流や、講演をしたい。世界中を旅してみたいです。

まずは、バスケットで国体に出場したい。九州大会での勝利めざしてがんばります。

▶最後に、市民の皆さんにメッセージを

私が成長できたのも、国見にいたからだと思います。活動・交流をとおして、私から何か学んでいただけならありがたいです。

“世界和ひとつ”-肩書きや人種、出身地等にとらわれず、人として人を見ることが出来る人であってほしい。人の立場に立って見ることが出来る人であってほしいと思います。

2年間、ありがとうございました。



◀7月28日に開催された送別会で懇談する真理雄さん



▲真理雄さんに森正二助役から感謝状が贈られました

ご意見・ご感想・連絡先 anton真理雄 E-mail: peacestrictly@mac.com

※「広報くにも」に掲載した「ONE WORLD」1~19号を希望される方は、ご連絡ください。